

薩摩藩の「郷中教育」紹介

大垣市

西郷隆盛のひ孫、隆夫さん講演

西郷隆盛のひ孫、西郷隆夫さん(54)の講演会が17日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれ、明治維新の志士を多く輩出した薩摩藩の教育法などについて語った。

(古家政徳)

「維新の志士たちは知識を生きたるための知恵に変えていた。それを教えたのが郷中教育」と話す西郷隆夫さん
大垣市万石、大垣フォーラムホテル



大垣西濃信用金庫が「だいしん特別講演会」として企画。約350人が聴講した。隆盛と3番目の妻イトとの間に生まれた長男寅太郎の七男、隆正を父親に持つ隆夫さん。「父は大正2(1913)年生まれで自分は52歳の時の子供。

わっぜ(大変)怖い人だった」と笑うと、毎日「西郷どん(隆盛)の話」を聞かせられて育った幼少期について紹介。父から「偉人はたくさ

らマ「西郷どん」について。ドラマを見た子どもたちが西郷どんに憧れて国を背負うようは正確に伝えてくれてら」と夢を語った。

量が薩摩藩独特の教育法「郷中教育」にあると示唆。先輩が後輩を指導する「教師なき教育」で、絶体絶命の危機を回避するすべを考え合つなど一つの正解に導くつとしないといった特徴を説明した。

また、NHK大河ド